

アクスルの締め付け手順

特にR 6 9 Sなど旧タイプモデルの前後アクスルシャフトには綺麗なクロームメッキが掛かっています。目立つ位置にあるためレストアで再メッキされていたり、再メッキが剥離していたり、錆が浮いている場合があります。タイヤ交換などでアクスルナットを緩めると3～4回転緩めでもナット部に隙間が出来ないことがあります。これはアクスルシャフトの外径が再メッキや錆のため基準より大きくなっていて反対側のスイングアームが引っ張られているためで作業不良が原因です。不都合はサスペンションのアライメントが出ないのでサス下部のアルミカバーがフレームと干渉して大きくキズが入ることなどがあります。アクスル締め付けの正しい手順はアクスルナットを本締めする前にテーパー棒でしごいてスイングアームにストレスが掛からない位置に落ち着けることです。



正常：ナットを緩めると隙間が出る



NG：アクスルが引っ張られるため隙間が出来ない



NG：クランプ位置が悪いのでナットを緩めるとアクスルが左側に引っ張られる



テーパー棒でアクスルをシゴク

